

名称 IUPAC (International Union of Pure & Applied Chemistry)

日本語名 国際基礎・応用化学連合

親機関 ---

住所 Bank Court Chambers, 2-3 Pound Way, Templars Square, Cowley, Oxford, OX4

国名 UNITED KINGDOM

電話 44-865-747 744

ファックス 44-865-747 510

---

1. タイプ：国際的学会

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

IUPAC は1919年に設立された非政府、非営利団体である。目的は、

- (1) メンバー国の化学者間の協力関係を促進する。
- (2) 規制、標準化と法制化に必要な基礎・応用化学に係わる国際的問題について研究する
- (3) 化学的特性に係わる問題を扱う他の国際機関と協力する。
- (4) 基礎・応用化学の全分野の進展に貢献する。

IUPAC のメンバー国は45カ国からなり、各国の科学アカデミー、研究委員会のような国の機関によって代表されている。日本は学術会議がメンバーである。IUPAC は1989年8月に第75回スウェーデン、ルンドの全体会議において『化学と環境』に関するプログラムの計画・実施を決定した。第一段階として、現在のIUPAC プロジェクトについて化学と環境に関するインベントリを準備している。

4. データ管理

IUPAC ではENTVAPOR (Enthalpies of Vaporisation of Organic Compounds) のデータベースシステムを作成している。

IUPAC では毎年約30の国際会議を支援している。これらの会議の情報はIUPAC のニュース"Chemistry International"として出版されている。これらは最新の会議情報と登録用紙とプログラムを入手するための連絡先を掲載している。

5. 協力関係： ---

6. 参考文献

IUPAC, 1990: Chemistry and the Environment, The IUPAC Programme, Recent and on-going Projects, 1990.